

安中市 議会だより

◆発行日 令和元年10月25日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 碓氷印刷株式会社

オープンした「ふれあい広場」 (碓氷峠の森公園)



令和元年安中市議会第3回定例会は、9月4日から9月24日までの21日間の会期で開催されました。この定例会に市長から提出された議案等は、専決処分[●]の承認について1件、条例の一部改正や平成30年度決算関係など議案22件、あわせて23件でした。

また、議員提出議案として意見書案が1件提出されました。

定例会のあらまし

- ◇4日〓本会議 会期の決定、専決処分を1件承認し、議案22件を上程(内1件を即決)。決算審査特別委員会を設置し、議案を各委員会に付託。
- ◇6・9日〓決算審査特別委員会
- ◇11日〓総務文教常任委員会
- ◇12日〓福祉民生常任委員会
- ◇13日〓経済建設常任委員会
- ◇18・19日〓本会議 一般質問
- ◇24日〓本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案21件を可決。議員提出議案1件を可決。議会改革特別委員会を設置。閉会。

一般質問



今定例会における一般質問は、9月18日と19日に行われ、10名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、12月2日～12月13日までの予定です。



やなぎさわ ひろゆき
柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

治水対策・観光振興・墓地について

市営墓地建設促進について

問 墓地形態も含めて調査研究を進めてきた内容は。

答 市営墓地建設候補地を公募するとともに、県内公営墓地先進事例4箇所を視察してきました。

問 市営墓地建設候補地の公募結果は。

答 3件の応募がありました。庁内検討委員会で視察調査を行い、検討した結果、適地として選定するには至りませんでした。

問 適地不選定の詳細内容は。

答 建設地の接続道路の幅員等や墓地施設との適合性、冬期の路面凍結や交通の利便性、上水道管接続までの距離等があります。

問 今後の市営墓地建設は。

答 市営墓地の必要性は十分認識しています。早期に適地を決定し、市営墓地の整備を進めていきます。

自治体による墓地の管理支援について



他市の霊園

問 墓の維持管理代行サービスは。故郷に帰省できない人のニーズを捉えた施策であります。

問 ふるさと納税の返礼品としてお墓の維持管理代行サービスの導入は。

答 ふるさと納税返礼品のメニューを充実させる必要性があります。その他、水路の安全対策、水をためる対策、ぐんまドステイションキャンペーンについて質問しました。

●専決処分…議事が議決または決定すべき事項を、緊急時で議会を招集する時間がない場合など特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理することです。なお、次の議会で、専決処分についての承認を求めることとなります。



まつもと つぎお 松本 次男 (無所属)

有害鳥獣対策・

会計年度任用職員制度について

捕獲隊の体制強化について

問 専門的な知識や技能を有する人材を市で雇用する考えは。

答 捕獲に関しては、座学では対応しきれないノウハウがあることから、雇用について検討します。

問 被害多発地区へ捕獲隊員を弾力的に配置する考えは。

答 捕獲隊は、地域に即した捕獲方法や住民との信頼関係を基に活動しています。被害多発地区では、住民のわな猟免許取得の推進に取り組みます。

市民と連携協力した対策の推進について

問 個人で檻を購入する場合の購入費補助の考えは。

答 補助制度について考えます。

問 荒れた竹林等の伐採による生息環境管理や檻の見回りなど、市民の主體的な取り組みへの支援は。

答 市民と行政が一体となり、対

策を推進することが重要と考えます。関係機関とも連携し、研修会や勉強会などの支援を行います。

問 焼却施設等の共同設置について

焼却施設等の共同設置について

問 広域的な視点から、県や隣接市町との情報交換や有害鳥獣焼却施設等の共同設置の考えは。

答 焼却施設の設置については、設置場所や維持管理等の課題もあり、引き続き検討します。その他、1項目について質問しました。



出没する有害鳥獣



さくらい ひろえ 櫻井 ひろ江 (日本共産党安中市議団)

安中のやきもの・交通安全対策・

市内企業のスラグ問題について

学習の森の企画展における「自性寺焼」と「安中焼」について

問 昨年12月からの企画展で『明治時代に、自性寺、下野尻、湯沢の窯の焼き物を「安中焼」に統一した。』との見解に疑問の声がある。統一した論拠は何か。

答 名称は不明でしたが、明治20年代の多治見の陶器商が出版した全国の陶磁器番付表に「上野安中焼」とあり、「安中焼」と言われていたと考えられます。企画展での説明のための名称であり、学術的に統一したものではありません。

問 昭和50年代の「自性寺焼」の復興に当時、市の活性化が期待される発言などがあり、以前から呼ばれていたということではないか。復興以前の「自性寺焼」は、どうであったか。

答 大正11年発行の「上毛及び上毛人」という雑誌に、安政年間「自性寺焼」と呼ばれる陶器

があつたが廃絶したと紹介されており、「自性寺焼」の名前が使われていた可能性があります。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

答 文化財や郷土の歴史資料等を通して貢献していきます。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

答 文化財や郷土の歴史資料等を通して貢献していきます。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

答 文化財や郷土の歴史資料等を通して貢献していきます。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。

答 文化財や郷土の歴史資料等を通して貢献していきます。

問 自性寺周辺には、多くの窯跡や遺跡があり、僧侶の墓もある。道路工事関係で県の発掘作業も再開した。「自性寺焼」の名を残し、地域おこしへの支援は。



企画展「安中のやきもの」解説書とチラシ



おみ ともひろ
金井 登美雄
(新公会)

鳥獣害対策・農業振興について

鳥獣害対策について

問 これまでの対策と実績は。

答 29年度526頭、30年度563頭を捕獲しています。

問 生活環境被害に対する防除事業とは。

答 住宅の敷地内に有害鳥獣が出没した場合の対策の助言と、希望者に花火、爆竹などを配布し、指導を行っています。

問 この防除作業が被害軽減に結びついているのか。

答 今後、全庁的な連携を図り、対策を検討します。

問 有害鳥獣対策協議会の設置後、良くなった点は。

答 市議会、農業委員会、がメンバ―に加わり、施策に取り組むことができ、さらに、国庫交付金を受けられるようになりました。

問 猟期中も捕獲しなければ、鳥獣被害は減少



逃げないイノシシ

少ないと思うが、どうか。

答 鳥獣被害は深刻で、被害軽減に向け期間中の捕獲緩和を県に働きかけます。

農業振興について

問 耕作放棄地対策の強化は。

答 地域農業の将来を考え、対策の強化を図ります。

問 農地を他の用途で使用したいという要望があるが、どうか。

答 土地改良事業で、3割の創設非農用地が生み出せます。用地を地域の意向に沿った形で活用できるよう取り組みを進めます。



こばやし かつゆき
小林 克行
(民声クラブ)

新庁舎建設・人口減少対策について

検討内容について

問 庁内事前準備組織の報告書によると、庁舎を新設する場合、

旧安中高校跡地が最善とされているが、その具体的理由は。

答 現在の場所から至近距離であり、業務を続けながらの建設が可能、仮庁舎の必要がなく一度

の移転で済む、用途地域が第二種住居地域のため、床面積が3000平方メートル以上の建築が可能、建設期間中の駐車場の確保が不要、などの理由が挙げられます。

問 耐震補強ではだめなのか。

答 耐震診断実施から12年以上経過しており耐震性能はさらに悪化しています。また事務室などがさらに狭くなること、管理費の増大、災害対応、バリアフリーへの対応など、市民サービスの低下を考えると耐震補強の合理性は低いと考えます。

問 合併特例債の期限を考えると、建て替えに必要な用途地域の



倒壊・崩壊の危険性の高い旧・中庁舎

更は厳しそうだが、検討は。

答 部分的に先行して用途地域の変更も検討します。

財源について

問 特例債の期限までに庁舎建設が完了すると仮定した場合、使える基金はいくらか。

答 完成を令和7年と仮定すると、地域振興基金は約15億6000万円、庁舎建設基金は約9億3000万円、合計約24億9000万円となります。

その他、1項目を質問しました。



小林 訂史
こばやしただし
(新政会)

指定管理者・市内業者育成・市営団地について

指定管理者について

問 制度導入の考えは。

答 公の施設の管理に民間のノウハウを活用することで効率的に管理を行うことです。

問 メリット、デメリットは。

答 費用の縮減ができませんが、十分なサービスを提供できなくなる可能性もあります。

問 峠の湯の指定管理料は。

答 「管理業務に対する委託料は、利用料金収入をもって充てるものとする。」と定められ、指定管理料は支払っていません。

問 恵みの湯の今後については。

答 指定管理者の公募を行い、令和2年度から指定管理の開始を予定しています。

問 指定管理料、赤字補填、指定期間は。

答 管理料は上限2000万円で割引券の減額分を市が負担、指定期間は3年間です。

市営住宅について

問 滞納者数と滞納金額は。

答 平成30年度末で滞納者数は263戸で滞納額は約1億4000万円です。

問 滞納金回収の取り組みは。

答 担当職員が個別訪問し、特別徴収も行い、滞納解決に向けた相談に対応しています。

問 遠丸団地の後は。

答 活用について検討する際は地域住民の意見を聞きながら進めていく考えです。

その他、1項目を質問しました。



指定管理者制度導入予定の恵みの湯



小川 つよし
おがわ
(清風クラブ)

子育て支援拠点整備事業・本市の働き方改革について

これまでの経緯について

問 建設工事の現状を聞きたい。

答 5月15日から試掘調査を始めるところ、一部より廃棄物が見つかり、撤去等の処理が必要で5月24日から中断しています。

問 土地購入前の土壌調査で基準値を超えた危険箇所が認められ、入れ替えない箇所から出たのか。

答 入れ替えない所から出ました。今後の対策と進め方について

問 信頼が失墜している。第三者委員会組織を作り、土壌の安全性が担保できるか確認し、市長が「安全宣言」出すのはどうか。

答 安全性は土壌調査を行い、必要な土砂の入れ替えが実施されています。今回の廃棄物は除去後に土を入れ、土壌調査を実施し、安全性を確認する予定です。

問 令和2年度中の供用開始を目指す予定だが、変更はあるのか。工事の中断で一定の遅れは想

答 令和2年度中の供用開始を目指す予定だが、変更はあるのか。工事の中断で一定の遅れは想

定されます。早期着工で令和2年度中のオープンを目指します。

会計年度任用職員制度について

問 賃金面が現行水準を下回るとの不安の声を聞くと、どうか。

答 下回らないよう制度設計を行います。要件はありますが期末手当、費用弁償が支給されます。

問 制度の周知や意見のフィードバックはどうか。

答 対象の方に説明会を開催し、意見に対しメール等を活用し、意見、問い合わせに対応します。



工事を中断している建設現場

●会計年度任用職員制度…地方公共団体の行政需要の多様化に対応し、一会計年度を超えない範囲内で置かれる非常勤の職が定義されたもの。服務に関する規定が適用され、手当が支給されるようになります。(来年4月から導入予定)



ながしま ようこ
長嶋 陽子
(公明党)

教員の働き方改革・高齢者福祉の充実・
安心、安全のまちづくりについて

小中学校の教員について

問 スクールサポートスタッフの
効果は。

答 現在配置の3校は、教職員の
負担軽減とともに円滑な学校運
営に役立っています。

問 超過勤務の削減や負担軽減を
図るために、業務支援にあたる
生徒指導推進支援員と特別支援
学級助手の拡充は。

答 児童生徒一人一人へのきめ細
かな対応とともに、特別な支援
を要する児童生徒への指導体制
の更なる充実のため、任用数の
拡大を検討します。

タクシー券について

問 1回の乗車に、1枚
と限らず複数枚利用で
きるよう検討してはど
うか。

答 1回につき1枚の利
用は、初乗運賃から鑑
みて、適当だと考えま
す。



庁内に設置されているAED

問 1市2制度の見直し検討は。

答 検討委員会を立ち上げ、補助
制度の課題を整理するとともに
総合的な公共交通対策の中で有
効な運用ができるよう、地域の
特性を考慮し、公平性に配慮し
ながら制度の見直しを検討しま
す。

救命救急施策について

問 AEDを緊急時迅速に使用で
きるよう、24時間営業のコンビ
ニエンスストアなどに、設置を
委託してはどうか。

答 先進事例を参考に情報収集を
行いながら研究を進めます。

新庁舎建設その後について

問 新たな建設計画が出たのか。

答 現時点では、時期を含めた具
体的な構想、計画はありません。

問 松井田支所庁舎の存続を前提
にしているかと理解してよいか。

答 松井田支所の活用は基本的に
存続を前提で検討を進めます。

問 現庁舎敷地の既存施設の活用
策も検討するのか。

答 本庁舎の新庁舎、保健センタ
ーの活用も検討していきます。

本来の幼児教育無償化について

問 市が独自に助成してきた保育
料の国基準と市基準の差がどの
程度あったのか。

答 助成額は、平成30年度では、
約1億2400万円になります。

問 市が助成してきた保育料の軽
減額を副食費用に充てれば保護
者の負担は小さくすると思うが。

答 主食費など実費徴収費用は、
これまでと同じで、国が示した
基本的な考え方に即していき



かない ひさお
金井 久男
(日本共産党安中市議員)

新庁舎建設計画・幼児教育無償化政策・
国民健康保険事業について

いと思います。

問 国からの公定価格が園児一人
月額約600円減額されるとい
うが、対策はあるのか。

答 差額分を活用して、栄養管理
加算などを拡充し、影響がない
ようにするという事です。

国保税の均等割見直しについて

問 保険税のうちの応益割で子ど
もの均等割だけでもなくすべき
ではないのか。

答 地方税法で賦課方式の規定が
あり、実現は難しいです。



無償化が始まる保育園の運動会



よしおか もとし
吉岡 完司
(新政会)

太陽光発電・社会資本整備・市の基金状況について

太陽光発電について

問 太陽光発電の設置に関する条例制定に伴う現在の本市における設備の設置状況は。

答 本市の認可件数は、1763件で、その内稼働中の設備は833件となっています。

問 工事をめぐり、住民から苦情や要望が多く、届け出を3000平方メートルから1000平方メートルに見直すべきと思うが、考えは。

答 近頃は居住地域の周辺で建設が進められる傾向にあり、新たな指導制度の構築に向け関係係局で協議検討して参ります。

都市計画道路について

問 都市計画道路の全体計画の整合性を見直しについての考えは。

答 都市計画道路は16路線で計画決定されており、今後は社会情勢の変化を把握し計画へ反映できるように検討して参ります。

市道の維持管理について

問 舗装の劣化や陥没、草刈り等

維持管理は多岐にわたるが、どのような対策を考えているのか。

答 日常パトロールを強化し、路面の異常を早期に補修することで安全な運行に努めます。

農道整備計画について

問 農道整備予算等が減少傾向だが、陳情書や要望書の状況は。

答 農道整備は17件要望があり、現地調査や農用地区域等総合的に判断し順次実施致します。

その他、土地開発基金について質問しました。



住宅周辺の太陽光発電施設

一般会計・5つの特別会計及び3つの事業会計決算を認定
平成30年度 一般会計決算

歳入総額 244億2,006万8,593円
歳出総額 235億6,859万9,463円

平成30年度 特別会計及び事業会計決算

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
安中市国民健康保険特別会計	66億1,160万7,825円	64億8,756万824円
安中市後期高齢者医療特別会計	7億7,339万3,936円	7億6,957万5,123円
安中市介護保険特別会計	63億7,073万9,207円	62億7,976万317円
安中市下水道事業特別会計	9億7,282万8,326円	9億6,682万6,150円
安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計	1億8,401万1,318円	1億8,100万1,169円
安中市水道事業会計	収益的	13億3,891万2,205円
	資本的	1億4,409万7,586円
安中市病院事業会計	収益的	25億6,270万8,159円
	資本的	1億8,406万787円
安中市介護サービス事業会計	収益的	4,449万8,082円
	資本的	0円
		110万4,889円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、市の予算が目的どおり正しく執行され、十分な成果をあげているかなどを詳細に審査するために、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員を選任して設置された委員会です。

一般会計と5つの特別会計及び3つの事業会計の決算内容について集中的に審査を行いました。審査の中で行われた一般会計の決算に対する主な質疑は次のとおりであり、それぞれ執行部から答弁がありました。

なお、答弁の内容については、紙面の都合により省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

- 公共交通情報オープンデータ化事業の概要と利活用について
- 諸税還付事務の過誤納還付金の詳細について
- 徴税事務の納税方法と手数料に

- ついて
- キャッシュレス決済への研究検討について

- 国際交流事業における相談内容や相談窓口の充実について
- 個人番号カードの交付率や現状について

- 証明書のコンビニ交付やポイント制の導入について

- 行政改革審議会の審議内容と議事録について

- 行政評価の対象数と事業内容について

- 行政評価の効果について
- ふるさと創生基金積立金の活用事業について

- 鉄道文化むらの今後の修繕と基金の活用について

- 原水爆禁止大会補助金の減額理由と補助金の名称について

- 空家対策推進事業の概要と実態について

- 路線バスのルート変更と公共交通通空白地域への対応について

- 地上デジタルテレビ難視聴対策事業の経過や対象について

- 結婚新生活支援事業補助金の内容と拡充の検討について

- 職員研修事業の区分ごとの内訳と自主研修事業の活動について
- 市民活動支援事業補助金の概要とイベントの参加者数について

【民生費】

- 生きがい活動通所支援事業の委託料について

- ひきこもりの相談件数と支援体制について

- 光陽館、ゆうあい館における相談体制と周知について

- 病児対応型病児保育に対する考えについて

- 学童クラブ費の委託料減額の理由について

- 公設公営の学童クラブにおける夏季休暇の対応と改善について

- 特別養護老人ホームの待機者数と増設計画について

- 子育て支援拠点に係るこれまでの支出総額とケルナー遊具の金額について

- 幼児教育・保育の無償化による市負担の増減について

- 生活困窮者自立支援事業の職員体制と実績について

- 生活保護援護事業の扶助費の減額や人数の減少要因について

- 生活保護受給者のうち高齢者の比率等について

【衛生費】

- 住宅用太陽光発電システム設置補助金の件数と制度自体の検討について

- 住宅用太陽光発電システム設置補助金の減額と今後の動向について

- 住宅地における小規模太陽光発電施設への苦情等の受付や対応について

- すみれヶ丘聖苑管理運営事業の修繕料の内容について

- すみれヶ丘聖苑の式場使用の状況と今後の見通しについて

- 公害対策事業における県営事業の進捗状況と負担金について

- 公害対策事業の今後の見通しと目途について

- 骨髄移植ドナー登録者数と周知について

- ごみ減量容器設置補助金の増額要因について

- 生ごみの減量に関する周知について

- ごみ処理施設基幹的設備改良事業の委託料と結果について

- ごみ収集時刻の変更と対応策の指示について
 - ペットボトル等回収事業における苦情対応と対策について
 - 新生児聴覚検査助成の事業概要について
 - 植物園の年間利用者数や学習利用団体の状況について
 - 植物園の積極的なPRについて
 - 保健師の人数と配置状況について
- 【労働費】**
- 松井田駅と西松井田駅の駅前無料駐車場の整備内容について
 - 市の障害者雇用率について
- 【農林水産業費】**
- 有害鳥獣対策事業の非常勤職員報酬の内容について
 - 農地転用の内訳について
 - 農業用水路の整備改修の基準や優先度について
 - 安中榛名駅近隣施設に係る林業振興費の金額と用途について
 - 地産地消対策補助金の内容と学校給食における体制について
 - 耕作放棄地解消対策補助金の内容と対策の強化について
 - ぐんま緑の県民基金市町村提案
- 型事業補助金の内容について
- 竹林管理のための薬剤について
 - 稚産振興対策事業の減額の理由について
 - 豚コレラ対策やイノシシ対策について
 - 多面的機能支払事業の補助金と事務作業の検討について
- 【商工費】**
- 企業誘致促進事業の委託料の増額理由について
 - 富岡市・安中市・軽井沢町広域観光連携協議会負担金の増額理由について
 - 市観光機構補助金の増額理由について
 - 市観光機構補助金に対する成果について
 - 国民宿舎整理事業に係る検討経過について
 - 店舗改装助成事業補助金の適用業種と内訳について
 - 店舗改装助成事業補助金と持続化補助金の併用について
 - 公共Wi-Fiの金額と現状について
 - ロケーションサービス事業でのゆかりの地マップ作成について
- 八風平キャンプ場の入場者数減少の要因とPRについて
 - ふれあい広場の工事請負費と広場内の池の濾過対応について
 - 企業誘致奨励金による雇用に対する効果について
 - 消費生活センターにおける相談内容や相談方法について
 - 消費生活センターの出前講座について
 - 観光振興事業の消耗品費の増額理由について
 - ロケツーリズムの観点での観光振興の考えについて
 - サムライマラソンの上映に伴う支出の効果について
- 【土木費】**
- 老朽化した木造市営住宅の除却の見込みについて
 - 遠丸団地の活用計画について
 - 住宅管理費に係るブロック塀の撤去場所と工事請負費の内容について
 - 市有施設における危険なブロック塀の対策状況について
 - 民間所有の危険なブロック塀の把握と補助制度について
 - 西毛広幹道関連事業の進捗状況
- について
- 通学路等の安全確保と危険な交差点の抜本的な対策について
 - 幼稚園や保育所の安全点検について
 - 橋りょうの長寿命化計画の進捗状況について
 - 大規模太陽光発電施設の固定資産税の減免件数について
 - 住宅リフォーム改修補助事業の実情と経済波及効果について
- 【消防費】**
- 避難所用のLPガスの発電機を設置場所について
 - 防災行政無線事業の減額理由と改善策について
- 【教育費】**
- 文化センターと文化会館の文化事業の統合について
 - 小学校と中学校の学校管理費の現状と学校現場の実感について
 - 歴史の道整備事業の概要と経緯について
 - 学校給食一部無料化事業における給食費補助金について
 - 生徒指導推進指導員や特別学級助手の賃金体系と希望する学校数について

【平成30年度決算 一般会計歳出の内訳】

※ 1万円未満切り捨て

1 款 議会費	2億3,782万円	7 款 商工費	3億3,725万円
2 款 総務費	24億3,562万円	8 款 土木費	17億5,578万円
3 款 民生費	86億8,789万円	9 款 消防費	8億6,171万円
4 款 衛生費	34億1,400万円	10 款 教育費	22億3,469万円
5 款 労働費	2,882万円	11 款 災害復旧費	1,360万円
6 款 農林水産業費	5億9,407万円	12 款 公債費	29億6,727万円

- スクールソーシャルワーカーの派遣数や活動内容について
- 弓道場建設事業の委託料の内容と減額理由について
- 教職員と事務局職員の長時間労働への対応について
- 要保護及び必要保護児童への学用品費の支給時期について

【公債費】

- 合併特例債の発行累計額と償還計画について

【歳出全般的事項】

- 経常収支比率の推移とその要因について

一般会計歳入

- 市営住宅の使用料等の滞納者への対応状況について
- 市営住宅の使用料等の長期滞納者への法的な措置について
- 市たばこ税の現状と喫煙コストについて
- 禁煙支援や禁煙治療の実施について
- 病後児保育事業使用料の増加理由と病児対応型保育について
- 個人市民税と法人市民税の増額の要因について
- 地方交付税が減額になった原因と今後の見通しについて
- 入湯税の対象施設について
- 入湯税の対象となる宿泊者数と日帰り客数について
- 入湯税の免除について
- 財政調整基金の運用結果と考え方について
- 歳入歳出規模の縮小と不用額の増加について
- 市債の運用結果と考え方について
- 合併特例債の活用について

一般会計反対討論

前年度対比、歳入で2・79%の減、歳出では2・87%の減という減額決算となりました。

決算規模が減少したのは、特に法人市民税が4億1000万円ほど増加しただけで、人件費2・91%増や繰り出し金1・4%増加したのみで、ほぼ全ての経費が減額となっており、特に投資的経費が14・4%も落ち込んでいます。これは目立った新規事業の実施がなく、市民要望に十分応えたとはいえないものとなりました。

法人市民税は、18・6%も増えましたが、予定納税と企業の業績に的確な配慮を行って、当初予算から妥当な予算化を行うべきです。

歳出では、平和の市民活動に対する助成が昨年度よりさらに半減されました。高齢化の進む山間地の交通対策では、一刻も早い対応が求められますが、免許証を返上しても安心して住み続けられる地域構築のためにも、喫緊の対策が必要とされます。

一般会計賛成討論

平成30年度の一般会計は、歳入において市税は増収となったものの、地方交付税等は減少となり、歳出では投資的経費の縮小により、実質収支額を7億9000万円余りとして決算できたことは、効率的な財政運営に努めた結果であると評価します。

主要な事業では、新生児聴覚検査や子どもの夢応援事業といった子育て世代への施策のほか、創業者支援事業等、働く世代にも配慮した施策を展開しています。

また、碓氷峠の森公園「ふれあい広場」や子育て支援拠点事業、西毛広幹道事業等、インフラ整備にも力を入れており、整備後の施設活用にも期待するところです。

今後の財政運営は、社会保障関係費が増加する一方、法人市民税の税率引下げなどにより、歳入が減少する非常に厳しい状況となるため、事務事業の見直しを積極的に行い、更なる行財政改革・歳出削減に取り組むよう要望します。

議会改革特別委員会を設置

令和元年9月24日、第3回定例会において、9名の委員で構成する議会改革特別委員会を設置しました。

議会改選前は、議会基本条例や政治倫理条例の制定、政務活動費の研究、子ども議会の開催などについて取り組んできました。

今後は、新しいメンバーで更なる議員資質の向上と開かれた議会を目指していきます。

調査研究の期間は、令和3年3月議会において報告することを想定して進めていきます。なお、その前に中間報告できるものについては随時本会議で報告を行う予定です。

本委員会は、議会開会中に随時開催し、閉会中も必要に応じて開催する予定となっています。

《調査・研究項目》

- 議会報告会について
- 意見交換会について
- 議会活動の情報公開について

- 議会ICT化について
- 政務活動費について
- 議会の災害対応等について
- 意見書の取扱等について
- 安中市議会基本条例の研究・検証について

議会改革特別委員会構成

委員長	吉岡完司		副委員長	小林克行	
委員	金井久男	武者葉子	遠間大和		
	壘次雄	高橋由信	柳沢浩之		
	奥原賢一				

令和元年第3回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案は、全員賛成で可決されました。

議案名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
	議員名	金井久男	櫻井ひろ江	松本次男	金井登美雄	長嶋陽子	武者葉子	小林克行	佐藤貴雄	小林訂史	遠間大和	壘次雄	巽久男	高橋由信	柳沢吉保	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	奥原賢一	田中伸一	
議案第78号 安中市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
議案第85号 平成30年度安中市一般会計歳入歳出決算認定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	認定
議案第86号 平成30年度安中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	認定
議案第88号 平成30年度安中市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	認定
議案第94号 令和元年度安中市一般会計補正予算(第3号)		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決

※今井敏博議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

人事関係以外の議案等

- 専決処分の承認を求めることについて
令和元年度安中市一般会計補正予算（第2号）
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
- 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例について
- 安中市市税条例の一部を改正する条例について
- 安中市学習の森条例の一部を改正する条例について
- ふるさと学習館が博物館に格上げになったことに伴い、設備の維持管理等のため、改正するものです。
- 安中市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 安中市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例及び安中市立保育所条例の一部を改正する条例について

幼児教育・保育の無償化に伴い、必要な改正を行うものです。

- 安中市印鑑条例の一部を改正する条例について
旧氏を使用した印鑑登録を可能とするため、改正するものです。
- 安中市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例について
- 安中市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について
- 市の境界変更について
県営松義西部土地改良事業により富岡市と安中市の境界変更が生じたものです。
- 境界変更に伴う財産処分に関する協議について
- 令和元年度安中市一般会計補正予算（第3号）
- 令和元年度安中市介護保険特別会計補正予算（第2号）

意見書（案）を可決

意見書とは、地方議会の意思として決定した意見等をまとめた文書です。地方自治法に定められているものであり、国会や内閣などに対して提出できます。

今定例会には、意見書（案）が1件提出され、可決されました。

《可決された意見書》

- 地方財政の充実・強化を求める意見書

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国会及び関係省庁に送付しました。

次の定例会（予定）

次の定例会市議会は、12月2日から12月13日までの12日間の会期で開催される予定です。

◇ 2日 ≡ 本会議 開会、議案の上程等

◇ 10日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 11日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 13日 ≡ 本会議 委員長報告、採決等、閉会

請願・陳情

皆様から提出されました陳情の審査結果は、次のとおりです。

《採択となったもの》

- 築瀬地区内道路拡幅の件

編集後記

この度の、千葉県を中心にした甚大な被害をもたらした台風15号により、被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

市民の皆様には、日頃より市議会へご理解とご支援を頂き心から感謝申し上げます。

9月の定例会では、決算審査特別委員会が設置され、平成30年度決算について活発な議論が行われました。また、10名の議員が一般質問をし、市政についていただきました。お忙しい所、傍聴に来てくださいました市民の皆様には感謝申し上げます。編集にあたり、分かりやすい紙面作りを目指し努力していきたいと思っております。（長嶋）

連絡先	
安中市役所	議会事務局宛
☎ 382-1111	内線 1349番
編集委員	
◎櫻井 ひろ江	○長嶋 陽子
○松本 次男	○小林 金井
○小久 克行	○小川 登美
○巽 久	○剛 史